

技術者の継続教育(CPD)について

- 技術者の継続教育(Continuing Professional Development: CPD)とは、技術者一人ひとりが自らの意志に基づき、自らの力量(Competencies)の維持向上を図るために行うもの※
- 多くの学会・業団体等において、技術者の能力の維持・向上を支援するため、継続教育(CPD)の認定等が実施されている

※出所: 土木学会HP (<http://committees.jsce.or.jp/opcet/>)

建設系CPD協議会の加盟団体

(公社)土木学会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(公社)日本技術士会、(一社)全国土木施工管理技士会連合会 ほか15団体

建築 CPD 運営会議の加盟団体

(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築学会、(公財)建築技術教育普及センターほか6団体

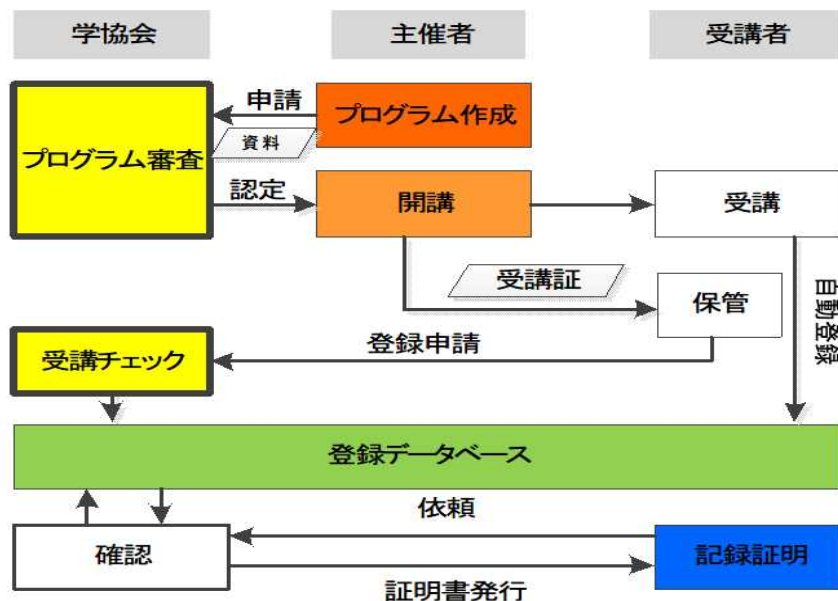
建築設備士関係団体CPD協議会の加盟団体

(一社)建築設備技術者協会、(公財)建築技術教育普及センター ほか3団体
※R1.8現在

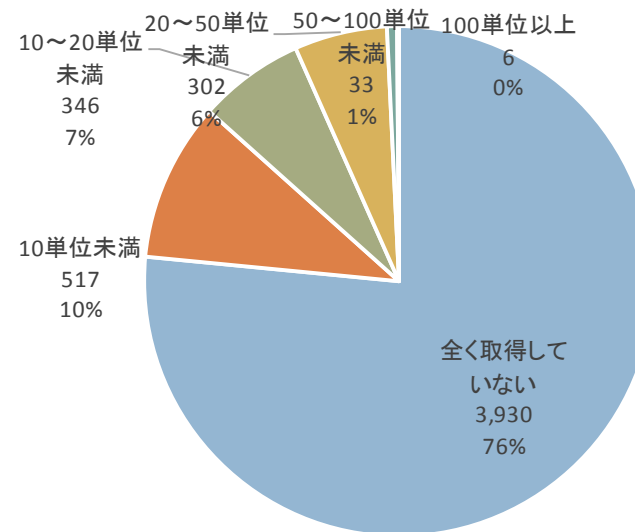
【例】全国土木施工管理技士会連合会で CPDの対象となる学習プログラムの形態

- ① 講習会、研修、技術委員会・現場見学会、社内研修、監理技術者講習 等
- ② 監理技術者講習・施工監理講習会後の試験、土木検定(技術)
- ③ 技術論文、図書執筆・社内論文、公開技法等
- ④ 特許出願・実用新案出願
- ⑤ 表彰の受賞(全国技士会長等)
- ⑥ 全国技士会Web CPDS、インターネット学習

CPD記録の審査方式の例(入口審査方式)



CPD単位の取得状況



監理技術者講習受講者へのアンケート結果
期間: H28.10~11月
回答数: 5,511人

○基準日前1年間における当該建設業者に所属する建設技術者のCPD取得状況

- ・当該建設業者に所属している建設技術者について、審査基準日において、基準日前1年間における技術者1人当たりが取得したCPD単位数を計算し、表に当てはめて評点を求める。
- ・配点については、現在のCPD取得状況をもとに検討する。

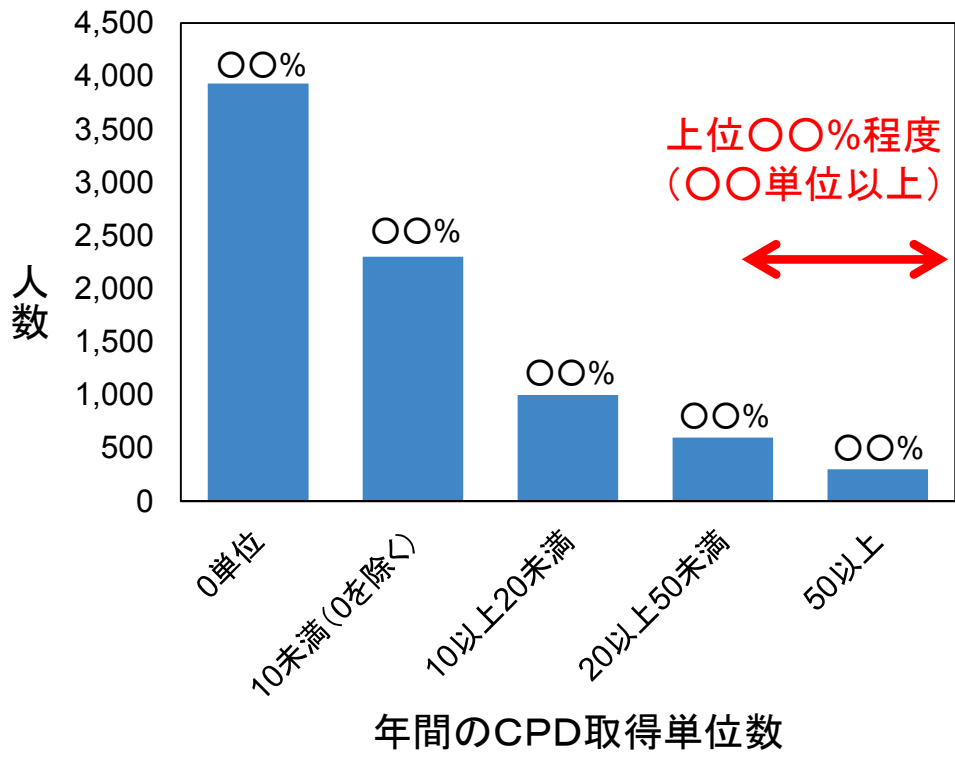
【計算式】

基準日前1年間における当該建設業者に所属する建設技術者が取得したCPD単位の総数

= ○○ 単位

基準日において所属している建設技術者の数

※ 下表の評点一覧に記載している分類に応じて、評点を割り振ることとする。



【評点一覧】

基準日前1年間における技術者1人当たりのCPD取得単位数	評点
○○以上	10
○○以上○○未満	8
○○以上○○未満	6
○○以上○○未満	4
○○以上○○未満	2
○○未満	0